

第49回 全国 junior-high-school

女子団体は、大藤沙月、菅澤柚花里の3年生を軸にトップ選手ぞろいの四天王寺が全試合3-0で2連覇を飾った。

決勝は、同じ大阪府で元日本女子代表監督の村上恭和氏率いるジュニアアシスト卓球アカデミーで腕を磨く選手がそろった貝塚第二。両校は、府大会で2回、近畿大会で1回対戦しており、4度目の勝負となったが、今回も四天王寺に軍配が上がった。

3位には、明徳義塾と山陽女が入賞した。

「全中の前にインターハイを終えた高校生がずっと冷静沈着プレー練習をしてきました。そのおかげで気持ちも引き締まり、結果にも出ました。貝塚第二とは今年度4度目の対戦となり、大阪では大藤はいませんでしたが、3対2の競り合いをしていましたので、警戒していました。」

選手たちは尻上がりになっていて、決勝では自分の力を出してくれました。ダブルスは、一番厳しくやってきましたので、そのおかげで明徳義塾さんとの対戦では3-2で勝利できました」と村田允史監督



「府大会で競った」貝塚第二のペアを相手に完璧なゲーム展開で勝利した萩井菜津子・竹山紗矢



サービスからの三球目攻撃が光った菅澤柚花里は元氣いっぱいなプレーを見せた

四天王寺が2連覇!

四天王寺(大阪) 女子団体優勝 Girls

準優勝 貝塚第二(大阪)

回転量の多いドライブで得点を重ねた赤江夏星は準決勝で0-2の劣勢から逆転



叩くようなバックハンドが効いていた東川陽菜は、準決勝の4番で貴重な勝ち星を挙げた

女子団体 準優勝



準々決勝の大東戦でラストに勝利した狩野琴春



3位 山陽女(岡山)

打点の高い両ハンド攻撃を積極的に放った白山亜美



3位 明徳義塾(高知)

Girl's BEST 8



就実(岡山)



中間東(福岡)



郡山第二(福島)



大東(岩手)

高い打点で攻撃を仕掛けた伊東明香

中学校大会

8月22~25日 広島県立総合体育館

センスあるプレーぶりを見せた浅見勇志



大黒柱として活躍した原田春輝。粘り強いカットに加え、威力のある攻撃も光った



Boys 中間東(福岡) 男子団体優勝

中間東が初優勝!

準優勝 明豊(大分)

力強いドライブを放つ田原翔太はエースとしてチームをけん引した。

愛工大名電戦では後に単で優勝した谷垣に勝利する金星を挙げた門脇康太



男子団体 準優勝



気迫あふれるプレーと安定した両ハンド攻撃で主力として戦った伊藤礼博



3位 安田学園(東京)

鋭いドライブが持ち味の剣持将作は、エースとして14年ぶりとなる入賞に導いた



3位 実践学園(東京)

Boy's BEST 8



尾久八幡(東京)



阪南(大阪)



浜松修学舎(静岡)



江別中央(北海道)

男子団体決勝は中間東と、予選リーグで野田学園、決勝トーナメント1回戦で愛工大名電と優勝候補を破って勝ち上がった明豊の九州でよく知る相手同士となった。

試合は2台進行で行われ、トップで左腕の浅見勇志(中間東)が、エースの田原翔太を破ると、主軸として戦ったカットの原田春輝(中間東)も勝利。中間東が2対0と王手をかけた3・4番。ダブルスは2-0とリードしマッチポイントを握ったが、ここから明豊が勝負強さを見せて挽回し、ゲームオールに。しかし、4番の齋藤大輝(中間東)が接戦の末に門脇を破って、ここで勝負あり。その後、ダブルスは明豊が勝利したが、3対1で中間東が初優勝を決めた。

3位には、東京勢の安田学園と実践学園が入った。

「明豊は野田学園と愛工大名電を倒して勢いもあったので、「九州大会で対戦したときは、別のチームだから新たな気持ちで頑張ろう」と話していました。浅見の起用をどうするか途中で考えたときもありましたが、将来、チームの柱として頑張ってもらいたいので、ここで一度もけてもらいたい」と起用し続けた結果、最後は相手エースに勝ってくれました。

要所で各人が勝ってくれました。全員の力がなくて勝てないということ改めて感じました」と石田弘樹アドバイザー



石田アドバイザーが「1年かけて強化した成果が出た」と評価した磯村拓夢・松井駿介のダブルスは、決勝では敗れたが、準決勝まで重要な役割を果たした

大藤が 2冠を達成



女子単
優勝
大藤沙月
(四天王寺/大阪)

変化のわかりづらいサービスから厳しいコースを突く両ハンドドライブが決まっていた「苦しい試合もありましたが、優勝できてよかったです。カット対策は毎日やってきたので、その成果を出すことができました。3回戦では苦しい試合になりましたが、たくさん練習をしてきたので、負けていても『ここから挽回できる』と思って、頑張りました。次は全日本ジュニアで優勝します!」

女子シングルスは、大藤沙月(四天王寺)が小塩遥菜(稲付)のカットに対し、絶妙に止まるストップと緩急をつけた攻撃で攻略し、初優勝を果たし、団体と合わせて2冠を達成した。3位には、菅澤柚花里と中森帆南の四天王寺勢が入った。



男子単
優勝
谷垣佑真
(愛工大名電/愛知)

鋭いバックハンドを軸に 積極的な攻めで得点を重ねた

「最後の全中ということもあったのでうれしいです。濱田選手とは分がよかったので、今回も自信を持ってプレーすることができました。台上のチキータとバックハンドの2・4球目をずっと練習してきたので、それが活かせてよかったです。団体戦では悔しい思いをしたので、シングルスで取り返すぞという気持ちでやった結果です」

男子シングルスは、谷垣佑真(愛工大名電)が濱田一輝との同士討ちを制して初優勝し、団体の敗戦の雪辱を果たした。決勝は激しいラリーの応酬で見応えのある戦いとなったが、フルゲームを谷垣が制した。3位は、鈴木颯(愛工大名電)と優勝候補の篠塚大登(愛工大名電)を破った三浦裕大(河北台)だった。

谷垣が念願の 初優勝



第3位
菅澤柚花里
(四天王寺/大阪)
サービスからの展開に強さを見せ、危なげない戦いぶりだったが、準決勝では大藤との同士討ちに敗れた

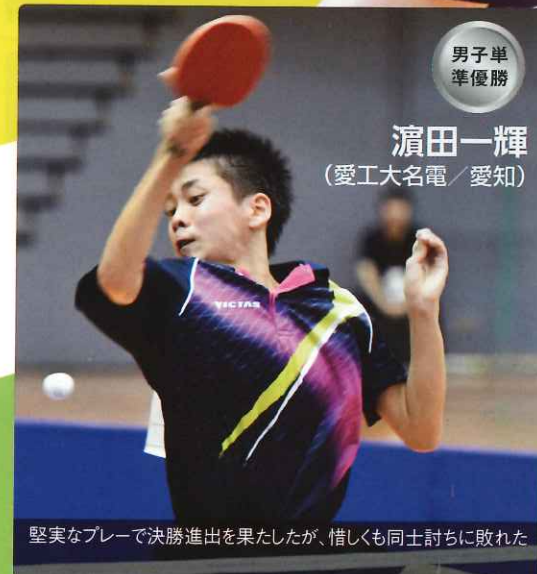


第3位
中森帆南
(四天王寺/大阪)
軽快なフットワークで安定感のあるプレーを見せた



女子単
準優勝
小塩遥菜(稲付/東京)

広い守備範囲と変化のあるカットとツッツキで1年生ながら決勝進出を果たした



男子単
準優勝
濱田一輝
(愛工大名電/愛知)

堅実なプレーで決勝進出を果たしたが、惜しくも同士討ちに敗れた



第3位
三浦裕大
(河北台/石川)
威力のあるフォアハンドを積極的に打ち込んで健闘の3位



第3位
鈴木颯
(愛工大名電/愛知)
広いプレー領域で威力のある両ハンドドライブを打ち込んだ

Girl's BEST 8



泉田和抄(和光第三/埼玉)
8決定ではカットの大久保(札幌大谷)との我慢の対決を制した

買手日菜(札幌大谷/北海道)
リーチを生かした思い切りのいい攻撃で、横井(四天王寺)を破った

赤江夏星(貝塚第二/大阪)
コースを突く鋭い両ハンドドライブが光った

山下菜々美(浜松修学舎/静岡)
ピッチの速い攻撃で由本(貝塚第二)との接戦に勝利

Boy's BEST 8



篠原大樹(浜松修学舎/静岡)
安定した両ハンドでラリー戦に強さを見せた

川村康人(高安/大阪)
硬いブロックで安田学園のエース伊藤を破った

原田春輝(中間東/福岡)
カットと攻撃を織り交ぜたプレーで相手を翻弄した

田原翔太(明豊/大分)
積極的にフォアで攻撃を仕掛けた